

3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

2008年度 基本方針

- 地域社会への貢献と地域活性化のための取組みを地域のみなさまと連携して推進します。
- 従業員が地域コミュニティの一員であるという自覚を持てるよう、活動内容や支援制度などの社内情報発信に努めます。



京都三大祭りのひとつ「葵祭」では京都営業所の従業員がボランティアとして行列に参加

地域社会の一員としての取組み

地域のみなさまと電気事業を通じて深い関わりを持つ当社は、地域社会のお役に立ち、みなさまに信頼いただき、ともに発展する企業でありたいと願っています。その思いをかたちにするため、イベントの主催や地域活動への参加など、多様な活動を展開しています。

地域のニーズに応じた事業所ごとの活動

イベントを通じた地域のみなさまとの交流

地域のみなさまと活動をともにしたいという思いから、各事業所ではイベントを開催するなど、地域の催しに積極的に参加しています。2008年度の活動の一部をご紹介します。



姫路営業所は、地域交流とスポーツ振興を目的に「かんでん杯西播家庭婦人バレーボール大会」を1992年から開いています



阪神営業所は、地元の社会福祉施設が開催するクリスマスパーティーの運営に有志で参加しています



和歌山電力所は、毎年、電力所を開放して夏祭りを開催。地域のみなさまにお楽しみいただけるよう模擬店や催しを企画しています



奈良支店は、天川村の「天の川 もみじまつり」に、ブースを出店し、若狭地方の特産物を販売しました



美浜発電所は、「美浜・五木ひろしマラソン」をバックアップ。運営ボランティアだけでなくランナーとしても盛り上げました

地域と連携した清掃活動

各事業所は、地域の環境美化をめざして、地元のみなさまとともに清掃活動を実施しています。事業所周辺の清掃は

じめ、自治体や自治会など地域の諸団体と連携し、海岸や河川、観光地や社会福祉施設などを対象に幅広くクリーンアップ活動などを進めています。



滋賀支店は、行政と協働で道路施設の清掃・除草などをおこなう「美知メセナ」活動に参加しています



黒部川電力システムセンターは、宇奈月温泉街にあるブロンズ像や周辺の清掃をおこなっています

地域の文化財施設などでの電気設備診断

地元の消防署などと連携して、寺社など文化財施設の電気設備診断を実施しています。漏電や電気配線の異常について調査し、お客さまの設備に合わせた電気の安全な使い方をご指導しています。こうした電気設備診断は、ひとり暮らしの高齢者のお宅や、社会福祉施設でもおこなっています。



消防署といっしょに地元の寺社の電気設備点検を実施（守口営業所）

関西の文化・芸術・スポーツを支援

学生アメリカンフットボールへの協賛

当社は、関西で盛んな学生スポーツのひとつであるアメリカンフットボールを1988年から応援しています。毎年春と秋のリーグ戦を「KANDEN FLASHBOWL SERIES」として協賛し、関西学生アメリカンフットボールの振興に努めています。

「KANDEN FLASHBOWL SERIES」



「かんでんコラボ・アート21」の実施

「アート創造を通じて自己を表現する喜びを感じてほしい」との思いを込め、「かんでんコラボ・アート21」を開催しています。「(財)たんぼぼの家」の協力を得て、毎年関西一円から障がいのある方々のアート作品を公募。2008年は約1,000点の力作が寄せられました。入選作品は「障がい者週間」に合わせて開く大阪での公開展示会を皮切りに、関西各地と福井県の計8ヵ所で開催する巡回展示会で多くの方にご覧いただいています。

2008年度
最優秀賞
『楽譜 Vivace.』
西岡 弘治さん



西岡さんの受賞に際して

特定非営利活動法人コーナス 事務局 白岩 高子氏
西岡さんが活動するコーナスは、障がいのある人もない人も「地域でともに生きる」ことをめざし、1994年に設立された小規模福祉作業センターです。今から5年前、余暇活動の一環ではじめたアート活動ですが、メンバーたちの作品のすばらしさに驚きました。みんなものすごいエネルギーを作品に注ぎ込むんです。

現在は週4日の午前中に2名のスタッフがサポートし、創作活動を続けています。最優秀賞に選ばれたと聞いたときは「西岡さんの絵が認められた」と、みんなで大喜びしました。

作品展示の機会を企業が提供してくれるのはありがたいこと。彼らの作品をもっと見てもらいたい、素晴らしい一面を多くの人たちに知ってもらいたいと思います。



クラシックコンサートの開催

関西地域の文化振興活動のひとつとして、1988年から「かんでんクラシック・スペシャル」と題したクラシックコンサートを毎年、開催しています。2008年度の「かんでんクラシック・スペシャル『オペラへの誘い』」は、モーツァルトの歌劇『後宮からの逃走』を上演。2日間で約2,400人の方々にお楽しみいただきました。このコンサート以外にも、各支店などが開催するクラシックコンサートがあります。

2008年度の「かんでんクラシック・スペシャル」はモーツァルトの歌劇を上演



社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員を対象とした社会貢献活動支援制度

ボランティア活動などを通じた従業員の自発的な社会貢献を

応援しています。「ボランティア休暇」や「マッチング・ギフト制度」などを設け、これらを運用するとともに、ボランティア活動についての情報を社内報などで提供しています。

<具体的な支援制度と実績>

ボランティア休暇
取得実績(2008年度) 105件 256日

従業員が休暇を取得して、一定の条件を満たす社会奉仕活動をおこなった場合、年間限度日数の範囲内でその1/2ないし全部を特別休暇として認める制度。

ボランティア休職
認定実績1992～2008年度で15名が取得

勤続5年以上の従業員が、公的社会福祉機関で社会奉仕活動を長期にわたり継続しておこなう場合に、原則として1年以内の休職を認める制度。ただし、青年海外協力隊としての休職期間は2年6ヵ月。

マッチング・ギフト
認定実績(2008年度) 5件 41万円

従業員が個人として、あるいは職場内での募金活動を通じて、一定の要件を満たす公的団体をサポートする場合、会社からも定められた限度内でその活動を支援する制度。

マッチング・ギフト制度を活用し 地域の保育所に楽器を寄贈(赤穂発電所)

赤穂発電所は、毎春、構内を1日開放して「さくらまつり」を開催し、約4,000人のご来場者にステージショーや遊覧船などをお楽しみいただいています。また、ガレージセールを開き、その売上にマッチング・ギフト制度の利用分を加えて、楽器や遊具を購入。地域の保育所に寄贈しています。



毎年、地域の保育所に楽器を寄贈

Voice 所員が品物を持ち寄ってガレージセール

「地域のみなさまに喜ばれることをしたい」との思いから、発電所所員がいろいろな品物を自宅から持ち寄り、ボランティアグループ「あこうさくらの会」のみなさまの協力を得ながら、ガレージセールを実施しています。毎年、地域の保育所を訪れて園児たちのうれしそうな笑顔を見ると「活動してよかった」という気持ちになります。これからも、所員や地域のみなさまの協力を得ながら、活動を継続していきたいと思っています。

赤穂発電所 計画課

角石 典弘



地域の活性化に向けた取組み

当社は地域とともに歩む企業として、地域の発展や産業の活性化にお役に立ちたいとの思いから、企業誘致に向けた活動やまちづくりのための活動を、地元のみなさまと連携を図りながら進めています。

企業進出プロモーションを展開

地域が活性化し、持続的に発展を遂げていくことは、地元に限らず企業である当社の願いです。そのような願いを実現するため、当社は、自治体や経済団体と連携しながら、企業誘致活動に取り組んでいます。具体的活動として、設備投資を検討されている企業に対して、産業団地や自治体の優遇制度などについて、情報を提供させていただいています。また、隔月発行の地域情報誌『Community Information』やウェブサイト「KANSAI企業立地ガイド」で、自治体の産業振興施策や用地情報、産学連携の取組みや、関西の魅力に関する最新情報を発信しています。

現在、大阪湾岸ではプラズマディスプレイパネルや液晶パネルの大型工場の建設工事が進んでいます。また、2009年1月、大阪市住之江区の当社大阪発電所跡地に、パナソニックのリチウムイオン電池新工場の起工式が開催されるなど、太陽電池やリチウムイオン電池に関する設備投資も活発で、今後もさらなる企業の集積が期待されています。



パナソニック プラズマディスプレイ(株)の新工場(尼崎市)



パナソニック(株)エナジー社のリチウムイオン二次電池新工場完成予想図(大阪市住之江区)

魅力あふれるまちづくりを推進

大阪「花と緑・光と水」のまちづくりを支援

関西の中心都市である大阪では、その貴重な財産である「水の都」の魅力を最大限に活かし、四季折々の花と緑があふれ、美しい光に彩られるまちづくりを進めるため、行政・経済界を中心に「花と緑・光と水懇話会」を結成し、さまざまな取組みを進めています。その一つ「大阪・光のまちづくり」活動は、「光のまちづくり企画推進委員会」を中心に行政と民間が一体となって推進されており、当社は、その委員会や関連実行委員会の事務局を担当し、光のまちづくり活動での企画・推進の役割を担っています。

具体的には、水都を象徴する橋や歴史的な建造物などの常時ライトアップや、光のイベントなどで、大阪の魅力を再発見し、まちや市民の方々に元気になっていただくとともに、多くの人に大阪を訪れていただくための取組みを展開しています。また現在は、大阪らしい光景観を生み出し、世界に誇ることができる「光のまち大阪」を実現するため、光環境整備のガイドライン「光のマスタープラン」の作成に向けて、行政や経済界が一体となって検討を進めています。

「大阪・光のまちづくり」の情報を発信

「大阪・光のまちづくり」活動では、光が都市の活性化に果たす役割や意味を、また、「光のまち大阪」の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信がおこなわれています。例えば、2008年12月には、フランスの光のまちづくりを参考に、光が果たす役割と可能性を考えるシンポジウムを開催し、2009年3月には、光景観創造の国際ネットワークであるLUCI※に、日本で初めて大阪が加盟し、世界へ向けての情報発信を始めています。当社は今後も「大阪・光のまちづくり」活動の中心的な役割を果たし、大阪の活性化に貢献していきます。

※LUCI:Lighting Urban Community International(光景観創造国際ネットワーク)



毎年12月に中之島一帯で展開される「OSAKA光のルネサンス」は、2008年で6回目を迎え、来場者は138万人を数えました



堂島川では、阪神高速道路橋脚の常設ライトアップが開始され、中之島に新たな光の風景が加わりました(2008年12月から点灯開始)

文化的景観とシビック・プライド

大阪は、明治から昭和初期にかけ、ベネチアに匹敵する都市美を得て、「水都」の異名で讃えられた。夜景の創出にも重きを置き、今宮での内国勧業博覧会では、日本初となる本格的なイルミネーションが実施された。こうした光の演出は市街地に応用され、水都の近代的な美観は、人工の光に彩られ、その個性をいっそう際立たせたものである。

近年の「光のまちづくり」は、そんな大阪固有の「文化的景観」に、新たな生命を吹きこむ試みである。年次を重ねるなかで市民・行政・産業界が一体となる「オール大阪」の推進体制を確立、LUCIへの参画による国際連携の実現を果たすなど、着実な歩みを示している。また今後、光のマスタープランの作成を通じて、より一層持続的なまちづくりへの発展が期待できる。

その効用は地域の活性化に資するだけではない。市民のシビック・プライドを向上させるとともに、都心のブランド力を高めるうえでもおおいに有用である。地域社会への多方面での貢献を高く評価するとともに、関西電力には、まちや市民を元気にするため、市民・行政・産業界をつなぐ役割を今後も期待したい。

大阪府立大学21世紀科学研究機構教授
大阪府立大学観光産業戦略研究所長

橋爪 紳也 氏



取組みへの評価

■社会貢献活動に関する当社のイメージと具体的なご意見

2008年度も地域社会の活性化に向けた取組みなどを地域のみなさまと連携して推進しました。こうした活動については、アンケートを実施し、ご意見をうかがいました。

●当社の企業イメージ

(お客さまへのアンケート結果から)

●「社会に貢献している」……………81.5%

●お客さまからいただいた具体的なご意見

●企業が文化や芸術活動に力を注ぐことはとてもいいことだと思う。本業への理解を深めるためにも、こういった取組みは継続してほしい。

●自治会主催の祭りや清掃活動などに積極的にお手伝いいただいている。今後とも協力をお願いしたい。

■従業員の社会貢献意識を高める取組みへの評価

社内向けポータルサイトや社内報(5章参照)を活用し、ボランティア活動や当社の社会貢献活動に関する情報を、適宜、従業員に向けて発信してきました。

従業員を対象に年1回実施している「地域共生・社会貢献」に関する全従業員アンケート(2008年11月実施)では、従業員の社会貢献意識について、下記のとおり高い水準を示していることが確認できました。

<2008年度結果>

従業員のボランティアへの意欲、関心

「今後興味のあるボランティア活動があれば参加したい」……………73.5%

専門家の方のご意見

国際NPO・NGO学会前会長
国立民族学博物館 教授

出口 正之 氏



2008年度は、電力各社は、かつてない経験をしました。前半は急激な原油価格の上昇があり、後半はリーマン・ショックから景気の悪化が深刻化し、電力需要にも大きな影響を与えました。こうした危機のときにこそ、企業の社会貢献に対する真の姿勢が表れるものです。

社会貢献活動担当者数(兼務人数含む)は、57事業所260名から1名の増加、ボランティア休暇日数は、254日から2日の増加をしております。いずれも微増とはいえ、社員全体が外部環境の変化に対しても、動じることなく社会貢献活動を継続していこうとする意思の表れだと言えるでしょう。

また、「かんでんコラボ・アート21」や「かんでんクラシック・スペシャル」など、継続的な活動の充実が目につきました。

従業員のボランティアへの関心が73.5%を示し、また顧客の81.5%から「社会に貢献している」という評価がある点も特筆されます。

2009年度は企業や消費者にとって、さらに厳しい年となりそうですが、こうしたときこそ、社会貢献活動を継続していくことの意義を再確認し、一層の充実に努めることを期待しています。

2009年度以降の方針

当社は、地域に根ざした事業者として、可能な限り地域ごとのニーズにお応えし、地域社会に貢献できるような取組みを進めてまいります。祭りやスポーツイベントなど地域のみなさまとともにおこなうさまざまな活動をはじめとし、企業誘致やまちづくりなどの地域振興プロジェクトにも、積極的に参加・協力していきたいと考えております。

また、社会貢献活動については、「かんでんコラボ・アート21」など企業としての取組みを進めるだけでなく、従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高めることも重要です。

地域社会の一員として何ができるかを考える機会を提供するなど、従業員の意識レベルの向上につながる情報発信を引き続きおこなってまいります。

関西電力株式会社
執行役員
地域共生・広報室長

八嶋 康博

